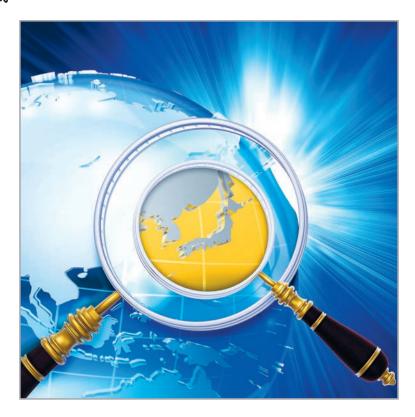
## 使用開始日 2025年4月9日

## 投資信託説明書(交付目論見書)

# ダイワ・ハイクオリティ日本株セレクト ―叡智の和―

追加型投信/国内/株式



#### ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読み下さい。

■委託会社(ファンドの運用の指図等を行ないます。) **大和アセットマネジメント株式会社** 

:融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Managemen

■受託会社 (ファンドの財産の保管、管理等を行ないます。) **みずほ信託銀行株式会社** 

■委託会社の照会先

ホームページ

https://www.daiwa-am.co.jp/





コールセンター 受付時間 9:00~17:00 (営業日のみ) **0120-106212** 

■ファンドに関する投資信託説明書(請求目論見書)を含む詳細な情報は委託会社のホームページで閲覧、ダウンロードすることができます。また、本書には約款の主な内容が含まれていますが、約款の全文は請求目論見書に掲載されています。

■本文書は、金融商品取引法(昭和23年法律第25号)第13条の規定に基づく目論見書です。



	商品分類		属性区分			
単位型・ 追加型	投資対象 地域	投資対象資産 (収益の源泉)	投資対象資産	決算頻度	投資対象 地域	
追加型	国内	株式	株式 一般	年2回	日本	

#### ※商品分類・属性区分の定義について

くわしくは、一般社団法人投資信託協会のホームページ [http://www.toushin.or.jp/]をご参照下さい。

〈委託会社の情報〉

委託会社名大和アセットマネジメント株式会社設立年月日1959年12月12日資本金414億24百万円

運用する投資信託財産の 合 計 純 資 産 総 額

32兆3,810億19百万円

(2025年1月末現在)

- ●本文書により行なう「ダイワ・ハイクオリティ日本株セレクトー叡智の和一」の募集については、委託会社は、金融商品取引法第5条の規定により、有価証券届出書を2025年4月8日に関東財務局長に提出しており、2025年4月9日にその届出の効力が生じています。
- 当ファンドは、商品内容に関して重大な変更を行なう場合に、投資信託及び投資法人に関する法律に基づき、 事前に受益者の意向を確認する手続きを行ないます。
- 当ファンドの信託財産は、受託会社により保管されますが、信託法によって受託会社の固有財産等との分別管理等が義務付けられています。
- ●請求目論見書は、投資者の請求により販売会社から交付されます(請求を行なった場合には、その旨をご自身で 記録しておくようにして下さい。)。

## ファンドの目的

わが国の株式の中からハイクオリティ企業の株式に投資し、信託 財産の成長をめざします。

### ファンドの特色



## ハイクオリティ企業の株式に投資します。

- ◆ ハイクオリティ企業とは・・・・・ 優れた経営力等により企業価値を創出し、効率的に収益を稼ぐことで、株価を 押し上げる力を有すると考えられる企業をさします。
- ◆運用にあたっては、企業調査アナリストによる定性分析、クオンツ・チームによる計量分析を活用し、ファンドマネージャーが株式市場での選好動向、資本効率性の改善等の視点を組み合わせることで、投資銘柄を選定します。

#### ポートフォリオ構築プロセス(イメージ)

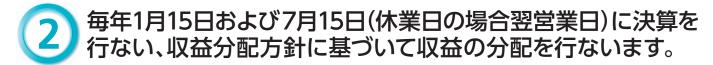
#### ポートフォリオ リスク度合い、銘柄の分散等を勘案 組入候補銘柄 現在の分析 ファンド モメンタム、資本効率性の改善、 マネージャー 株価バリュエーション等 に基づく銘柄選定 知恵 過去の検証 未来の予測 アナリスト クオンツ 計量分析 定性分析 数理的な手法や独自のモデルを 知恵 知恵 経営者のビジョンや企業の 駆使して、投資魅力度を 成長性・継続性を調査 分析し銘柄を抽出

わが国の金融商品取引所上場株式

## ファンドの目的・特色

- ◆株式の組入比率は、通常の状態で高位に維持することを基本とします。
- ◆中長期的にベンチマーク(JPX日経インデックス400(配当込み))を上回る 投資成果をめざします。
  - ・JPX日経インデックス400は、東京証券取引所に上場する普通株式等の中から、時価総額、売買代金、ROE 等をもとに、算出者が選定した銘柄を算出対象とします。構成銘柄数は、原則として400銘柄です。起算日は2013年8月30日、基準値は10,000です。
  - ・当ファンドは、JPX日経インデックス400(配当込み)を上回る投資成果を保証するものではありません。

大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、ファンドの特色1.の運用が行なわれないことがあります。



#### [分配方針]

- 1 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。
- ② 原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。
- ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

### 主な投資制限

- 株式という資産全体の投資割合には、制限を設けません。
- 外貨建資産への投資は、行ないません。

「JPX日経インデックス400」および同指数に配当収益を加味した「配当込JPX日経インデックス400(本書類における「JPX日経インデックス400(配当込み)」をいいます。)」(以下、総称して「JPX日経400等」といいます。)は、株式会社JPX総研(以下「JPX総研」といいます。)および株式会社日本経済新聞社(以下「日経」といいます。)によって独自に開発された手法によって算出される著作物であり、JPX総研および日経は、「JPX日経400等」自体および「JPX日経400等」を算定する手法に対して、著作権その他一切の知的財産権を有しています。JPX総研および日経は、「JPX日経400等」を継続的に公表する義務を負うものではなく、公表の誤謬、遅延または中断に関して、責任を負いません。本商品は、投資信託委託業者等の責任のもとで運用されるものであり、JPX総研および日経は、その運用および本商品の取引に関して、一切の責任を負いません。

## 基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。 したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。 信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金とは異なります。

#### 主な変動要因

株価の変動 (価格変動リスク・) 信用リスク・

株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

当ファンドは中小型株式に投資することがあります。中小型の株式については、株式市場全体の動きと比較して株価が大きく変動するリスクがあり、当ファンドの基準価額に影響する可能性があります。

そ の 他

解約資金を手当てするため組入証券を売却する際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

## その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。

これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付けが中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。

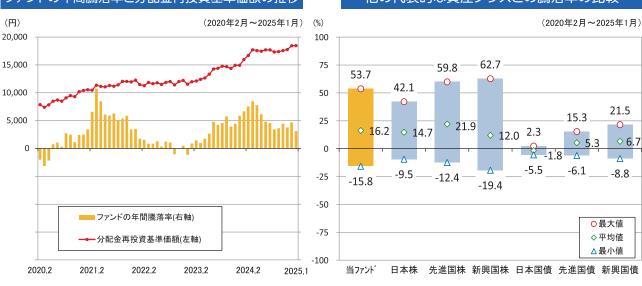
### リスクの管理体制

- 委託会社では、取締役会が決定した運用リスク管理に関する基本方針に基づき、運用本部から独立した部署および会議体が直接的または間接的に運用本部へのモニタリング・ 監視を通し、運用リスクの管理を行ないます。
- 委託会社では、流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性 リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証などを行ない ます。
- 取締役会等は、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢について、 監督します。

●下記のグラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。 右のグラフは過去5年間における年間騰落率(各月末における直近1年間の騰落率)の平均・最大・ 最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。また左のグラフはファンド の過去5年間における年間騰落率の推移を表示しています。



#### 他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- ※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。
- ※ファンドの年間騰落率は、分配金 (税引前) を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の 基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
- ※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。
  - ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
  - ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
  - ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して 表示します。

#### ※資産クラスについて

日本株:配当込みTOPIX

先進国株: MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株: MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債: NOMURA-BPI国債

先進国債: FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債:JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス― エマージング・マーケッツ グローバル ダイバーシファイド (円ベース)

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社 (以下「JPX」といいます。) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ および同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の 誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・イン デックスは、MSCI Inc. ([MSCI]) が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものでは なく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文に ついてはこちらをご覧ください。 〔 https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html 〕 ●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の 動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出され ます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は同社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、 有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に 関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス― エマージング・ マーケッツ グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・ 正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。 J.P. Morganからの書面による事前承認なしに 本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

### ●ダイワ・ハイクオリティ日本株セレクト―叡智の和-

2025年1月31日現在

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

#### 基準価額・純資産の推移



<sup>※</sup>上記の「基準価額の騰落率」とは、 「分配金再投資基準価額」の騰落率です。

#### ※基準価額の計算において運用管理費用(信託報酬)は控除しています。

#### 分配の推移(10,000口当たり、税引前)

			直近1年	間分配金	合計額:	1,250円	設定	来分配金	合計額:	4,910円			
	·····································	第 8 期	第 9 期	第 10 期	第 11 期	第 12 期	第 13 期	第 14 期	第 15 期	第 16 期	第 17 期	第 18 期	第 19 期
	八开州	19年7月	20年1月	20年7月	21年1月	21年7月	22年1月	22年7月	23年1月	23年7月	24年1月	24年7月	25年1月
Ì	分配金	0円	0円	0円	500円	900円	170円	30円	10円	1,000円	900円	1,100円	150円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

#### 主要な資産の状況

#### ※比率は、純資産総額に対するものです。

資産別構成	銘柄数	比率	株式東証33業種別構成	比率	組入上位10銘柄	業種名	比率
国内株式	59	96.6%	電気機器	24.2%	東レ	繊維製品	4.6%
国内株式先物	1	1.4%	銀行業	9.9%	ソニーグループ	電気機器	4.6%
不動産投資信託等	-	-	情報▪通信業	8.5%	三菱UFJフィナンシャルG	銀行業	4.5%
コール・ローン、その他		3.4%	機械	8.1%	富士通	電気機器	4.1%
合計	60	-	輸送用機器	5.0%	キーエンス	電気機器	3.2%
株式 市場・上場別	構成	比率	繊維製品	4.6%	日立	電気機器	2.8%
東証プライム市場 96.6		96.6%	卸売業	4.1%	東京海上HD	保険業	2.7%
東証スタンダード市場	東証スタンダード市場 -		保険業	3.8%	アイシン	輸送用機器	2.6%
東証グロース市場 -		-	非鉄金属	3.7%	三井住友フィナンシャルG	銀行業	2.5%
地方市場・その他		-	その他	24.6%	セガサミーホールディングス	機械	2.3%
合計 96.6%		合計	96.6%	合計		34.0%	

<sup>※</sup>先物の建玉がある場合は、資産別構成の比率合計欄を表示していません。

#### 年間収益率の推移

当ファンドのベンチマークはJPX日経インデックス400(配当込み)です。



<sup>・</sup>ファンドの「年間収益率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。ベンチマークの「年間収益率」は上記ベンチマークのデータに基づき当社が計算したものです。

委託会社のホームページ等で運用状況が開示されている場合があります。

<sup>※「</sup>分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

<sup>■2025</sup>年は1月31日までの騰落率を表しています。

当該ベンチマークの情報はあくまで参考情報として記載しており、ファンドの運用実績を表したものではありません。

## お申込みメモ

購 入 単 位	最低単位を1円単位または1口単位として販売会社が定める単位
購 入 価 額	購入申込受付日の基準価額(1万口当たり)
購 入 代 金	販売会社が定める期日までにお支払い下さい。
換金単位	最低単位を1□単位として販売会社が定める単位
換 金 価 額	換金申込受付日の基準価額(1万口当たり)
換 金 代 金	原則として換金申込受付日から起算して4営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時30分まで(販売会社所定の事務手続きが完了したもの) なお、販売会社によっては異なる場合がありますので、くわしくは販売会社にお問合わせ 下さい。
購入の申込期間	2025年4月9日から2025年7月14日まで
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込みには制限があります。
購入・換金申込受付 の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止その他やむを得ない事情が発生した場合には、購入、換金の申込みの受付けを中止すること、すでに受付けた購入の申込みを取消すことがあります。
信 託 期 間	2015年7月16日から2025年7月15日まで
繰上償還	次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させること(繰上償還)ができます。 ・受益権の口数が30億口を下ることとなった場合 ・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき
決 算 日	毎年1月15日および7月15日(休業日の場合翌営業日)
収益分配	年2回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。 (注)当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。なお、お取扱い可能なコースおよびコース名については異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせ下さい。
信託金の限度額	5,000億円
公 告	電子公告の方法により行ない、ホームページ [https://www.daiwa-am.co.jp/] に掲載します。
運用報告書	毎計算期末および償還時に作成し、交付運用報告書をあらかじめお申出いただいたご住所にお届けします。また、電子交付を選択された場合には、所定の方法により交付します。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除の適用があります。益金不算入制度の適用はありません。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。 当ファンドは、NISAの対象ではありません。 ※2025年1月末現在のものであり、税法が改正された場合等には変更される場合があります。

## ファンドの費用・税金

#### ファンドの費用

#### 投資者が直接的に負担する費用

	料率等	費 用 の 内 容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉 <mark>3.3%(税抜3.0%)</mark>	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、 取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	_

#### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

		料 率 等	費 用 の 内 容
運用管理費用(信託報酬)		年率1.705% (税抜1.55%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して 左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上 され日々の基準価額に反映されます。
配分	委託会社	年率0.75%	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、 目論見書・運用報告書の作成等の対価です。
(税抜) (注1)	販売会社	年率0.75%	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価です。
	受託会社	年率0.05%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。
	の費用・数料	(注2)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

- (注1)「運用管理費用の配分」には、別途消費税率を乗じた額がかかります。
- (注2)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。 ※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。
- ※運用管理費用の信託財産からの支払いは、毎計算期末または信託終了時に行なわれます。
- ※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

#### 税金

- ・税金は表に記載の時期に適用されます。
- ・以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時 期	項目	税 金
分配時	所得税および 地方税	配当所得として課税 <sup>(注)</sup> 普通分配金に対して20.315%
換金(解約)時および 償還時	所得税および 地方税	譲渡所得として課税 <sup>注)</sup> 換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して20.315%

- (注)所得税、復興特別所得税および地方税が課されます。
- ※外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- ※上記は、2025年1月末現在のものですので、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。
- ※法人の場合は上記とは異なります。
- ※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## 手続·手数料等

#### 

	総経費率 (①+②)	運用管理費用の比率 ①	その他費用の比率 ②
ダイワ·ハイクオリティ日本株セレクト - 叡智の和 -	1.71%	1.71%	0.01%

- ※対象期間は2024年7月17日~2025年1月15日です。
- ※対象期間中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。)を、期中の平均受益権□数に期中の平均基準価額(1□当り)を乗じた数で除した値(年率)です。
- ※詳細につきましては、対象期間の運用報告書(全体版)をご覧下さい。

Memo
74161116

# 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management